

## 2025 年度助成 [技術開発]

テーマ	申請者	助成金額 (万円)
赤外撮影に革命を起こすゲルマニウム撮像素子	東京都市大学電気電子通信工学科 教授 澤野 憲太郎	242
難燃性を付与した低分子ゲル化剤の開発と有機ゲル電解質への応用	有機分子材料工学研究会 代表 岡本 浩明 (山口大学大学院 准教授)	456
SFNブラスターの伝搬試験に向けた実験機材整備	東京工業高等専門学校電気工学科 教授 木村 知彦	384
放送・配信に向けた点群圧縮の効率的パッチ生成手法に関する研究	東京農工大学大学院工学研究院 教授 岩崎 裕江	400
次世代バーチャルスタジオ映像のための指向性面光源シェーディング手法の開発	埼玉大学理工学研究科 教授 岩崎 慶	264
台本情報を起点とした段階的なデータベース構築によるバリアフリー字幕制作 AI の開発	筑波技術大学産業技術学部 准教授 渡辺 知恵美	225
大規模言語モデルを活用した言語バリアフリー放送の実現	大規模言語モデルによる言語バリアフリー化研究グループ 代表 宇津呂 武仁 (筑波大学 教授)	319
場面や心情を考慮した効果音・環境音キャプションの自動生成	京都大学大学院情報学研究科 准教授 井本 桂右	325
全視野自然画像に対するヒト視覚特性の認知神経学的解析	東京大学大学院総合文化研究科 教授 本吉 勇	420
リアルアバターの他者・AI 操作による自己感喪失の定量化と受容性検討	豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 北崎 充晃	436

(所属・肩書は申請時)

## 2025 年度助成 [人文社会]

テーマ	申請者	助成金額 (万円)
ラジオ沖縄と女性運動——85年のうないフェスティバルを起点に	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 修士課程 河原 千春	100
震災体験『語り合い』の番組制作による『語り継ぎ』の実証研究	震災の伝承によるまちづくりの担い手育成研究会 代表 土屋 依子 (目白大学 准教授)	63
デジタル情報空間の秩序形成のための放送の果たすべき役割—AI時代の放送文化	デジタル情報空間の秩序形成と放送文化研究会 代表 林 秀弥 (名古屋大学大学院 教授)	100
放送業界における人材育成の今日的課題・可能性に関する調査研究	「放送業界における人材育成」調査研究プロジェクト 代表 米倉 律 (日本大学 教授)	70
放送業界のジェンダー平等に関する実態調査2025(2)	GCN(ジェンダーとコミュニケーションネットワーク) 共同代表 林 怡夔 (立教大学 教授)	71
テレビ文化の拡張と再編に関する総合的研究～ポストテレビからトランステレビへ～	トランステレビ研究会 代表 丹羽 美之 (東京大学大学院 教授)	120
ユニバーサルアクセス権の国際制度比較と日本への適用可能性	早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授 大井 義洋	73
インターネット時代に対応したメディア市場モデルの構築と広告効果の推定	長崎大学経済学部 教授 宍倉 学	80
配信時代の政治的番組とジレンマ：台湾「政治ドラマ」の事例から	慶應義塾大学総合政策学部 教授 渡辺 将人	200
森崎和江の集団創造としてのテレビドキュメンタリー	大阪大学大学院人文学研究科 教授 渡邊 英理	100

テーマ	申請者	助成金額 (万円)
ラジオ放送が形成する学習文化：「大学受験ラジオ講座」のメディア史	奈良女子大学文学部 特任助教 藤村 達也	70
1980～90年の子ども向けアニメ作品をめぐる女性制作者と家族表象の関係性の研究（3）	Women in Japanese Animation (WIJA) 研究会 代表 須川 亜紀子 (横浜国立大学 教授)	62
1930年代のラジオ放送と南米行き移民をめぐる広報メディアの研究（その2）	国際日本文化研究センター 特定研究員 根川 幸男	45
デジタル時代におけるジャーナリストのトラウマ経験の実態調査と報道現場への提言	ジャーナリズムとトラウマ研究会 共同代表 李 美淑 (大妻女子大学 准教授)	90
SNS時代の報道を巡る著作物利用に係る権利制限の新たな解釈論	著作物の「写り込み」研究会 代表 末宗 達行 (横浜国立大学大学院 准教授)	70
植民地のラジオに見る多義性：台湾放送協会への台湾人参与と限界	東京大学大学院総合文化研究科 博士後期課程 原口 直希	100
1950年代から70年代のハワイにおける日本語テレビ文化	佛教大学社会学部 教授 大場 吾郎	60

(所属・肩書は申請時)

## 2025年度助成 [イベント事業 (前期)]

テーマ	申請者	助成金額 (万円)
戦後 80 年沖縄民放 3 局合同ドキュメンタリー 上映会イベント	沖縄民放 3 局合同ドキュメンタリー上映会プロジェクト 町 龍太郎 (琉球朝日放送コンテンツビジネス局コンテンツビジネス部)	210
能登半島地震・奥能登豪雨の経験を未来へ「# つたえよう石川」民放 4 局共同防災イベント	石川民放テレビ 4 局共同キャンペーン 「#WAKU をこえろ！」プロジェクト 代表幹事 中島 佳昭 (北陸朝日放送 編成局総合編成部部長)	300
南海トラフ巨大地震を想定した関西 7 局と自 治体の共同防災訓練	関西民放 NHK 連携プロジェクト 事務局 京田 光広 (NHKエンタープライズ近畿 エグゼクティブプロデューサー)	200
中学校における「ふるさとの魅力発信 CM」の 制作	自治体教育連携プロジェクト 代表 細谷 英宣 (熊本朝日放送 地域プロモーション局局长)	20
放送・インターネットを活用した地域活性化に 資する事業	まちのラジオプロジェクト 大嶋 智博 (オナガワエフエム プロデューサー)	200
メディアリテラシーと熊本地震の記憶継承を 考える交流事業	熊本県民テレビ 経営戦略局長兼サステナビリティ推進室長 本田 達昭	90
第 2 回 九州沖縄メディア・フォーラム	福岡メディア批評フォーラム 副代表 神戸 金史 (RKB 毎日放送 報道局解説委員長)	120
ドキュメンタリー番組制作の勉強会 2 年目 を迎え制作実践ワークショップ開催	「北海道ドキュメンタリーワークショップ」実 行委員会 実行委員長 後藤 一也 (北海道文化放送メディア局映像プロデュース室部長)	200
持続可能な音声業界にしていくための音声業 界活性化事業	玄石 代表取締役 石井 玄	100
山田太一が遺した膨大な資料をデジタルアー カイブ化して後世の放送文化の向上に寄与す る。	「山田太一のバトンを繋ぐ」会 代表 長谷川 佐江子 (アトラス)	300

テーマ	申請者	助成金額 (万円)
「地方の時代」映像祭 2007 年～2022 年応募作品のアーカイブ整備	「地方の時代」映像祭実行委員会 プロデューサー 市村 元 (関西大学 客員教授 (学長室))	150

## 2025 年度助成 [イベント事業 (後期)]

タイトル	申請者	助成金額 (万円)
地方民放局のコンテンツを海外に展開するためのフォーマットを開発する取り組み	日本国際放送・テレビせとうち共同プロジェクト 谷 草生 (日本国際放送 メディア事業推進部部長)	200
地域放送のオンデマンド化がもたらす価値の検証事業	コミュニティ FM オンデマンド実証委員会 代表 小保方 貴之 (FM 桐生 事業本部長)	200
アナウンサー防災朗読イベント～地域災害を語り継ぐ～	BSN 防災減災プロジェクト委員会 委員長 上村 啓 (新潟放送 執行役員メディアビジネス局長)	70
「After prison」インタビュー勉強会とガイドライン制作	「After prison」インタビュープロジェクト 事務局 芳賀 美幸 (中日新聞社 記者)	80
ジャーナリストカフェ ～地域の若者と報道の「いま」を語る対話イベント～	カナリア舎 代表取締役 大越 健介	180
地域ジャーナリズムにおけるデータ報道・OSINT の推進と実践体制の構築	地域ジャーナリズムデータ報道・OSINT 推進グループ 代表 坂本 信博 (西日本新聞社 メディア戦略担当部長)	200
ABU Con-FEST, Media&Culture Days 2026	アジア太平洋放送連合 (ABU) 番組局長 青木 一徳	250
AIBD/HBF 地域ワークショップ: 子供の問題に関する責任あるメディアの語り口	Asia-Pacific Institute For Broadcasting Development (AIBD) Secretariat Director Gnanapragasam Philomena	150
Docedge コルカタ、アジア・ドキュメンタリー・フォーラム 2027	Documentary Resource Initiative President Majumdar Nilotpai	120
放送文化とジェンダー研究の軌跡－先駆者の声を未来へつなぐ	国際ジェンダー学会メディアとカルチャー分科会研究史記録編纂委員会 代表 小林 直美 (愛知工科大学 准教授)	180

タイトル	申請者	助成金額 (万円)
未来へつなぐ放送脚本 — 記録から創造へ	日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 代表理事 池端 俊策	250

(所属・肩書は申請時)